

令和6年度 指定管理者年度総合評価表

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

作成日	令和7年5月29日
-----	-----------

■指定管理者概要

施設名	水産科学館	
所在地	八戸市大字鮫町字下松苗場14-33	
施設概要	設置目的：八戸市の水産に関する資料及び海の生態に関する資料等を展示すること、並びにその他水産に関する知識の普及及び向上を図る。 構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造5階建	
指定管理者	名称	企業組合かぶあがり
	代表者	代表理事 吉井 仁美
	所在地	八戸市大字是川字二ツ屋6-38
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	
指定管理者の業務	・八戸市の水産、海の生態に関する資料等の企画、展示に関すること。 ・施設の使用許可に関すること。 ・施設整備等の維持管理に関すること。	
市所管課 (問合せ先)	観光文化スポーツ部観光課 施設グループ	
	電話	0178-43-9536 (直通)
	e-mail	kanko@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	・多くの皆様から「魅力ある施設として」利用されることを目指し、「魔法の水」と呼ばれる好適環境水を使用した水槽展示のほか、開館35周年記念企画、市内小中学校と連携し開催する「卒業おめでとう展」、ナメタガレイの生態や魅力・ユニークな特徴を紹介する「八戸のお正月！ご挨拶ナメタガレイ展」、北海道立オホーツク流氷科学センター「GIZA」との連携によるクリオネの展示、開館時間を延長する自主事業「夜のマリエント」事業に取り組んだ。 ・広報誌「マリエント通信」、企画展ポスターを発行し、幼・保育園、学校関係を含む県内外約1,500箇所配布したほか、ホームページを活用した広報活動や、「はっふる隊」の受入れなどの体験企画の実施に積極的に取り組んだ。 ・八戸花火大会に併せたサービス提供を行うことにより集客増加を図るため、8月18日（日）21時まで、4階・5階屋内外・トイレの開放とMsキッチン&カフェECHOESによる花火観覧者へ軽食等の販売を実施した。 ・令和7年1月1日（水）、県内で活動するドラゴンマルシェの「新鮮ミックスサラダ」を来館されたお客様にプレゼントする企画を開催し、地域食文化の普及とサービスの向上、及び集客を図った。当事業の実施は「年末年始も開館している公共施設」として、来館者から高い評価を得られた。 ・入館者増加のため様々な事業に取り組んだが、令和6年度入館者数は54,593人（前年度比91%）、そのうち減免利用78件（前年85件）1,433人（前年1,913人）と前年度より少ない結果となった。 ・入館者の結果については、天候による団体及び学校関係の利用のキャンセルや、体験企画の提供不足により十分なお客様満足度向上を図ることができなかったことが要因となり、入館者を確保することができなかったと考えている。天候に左右されない入館者増加の工夫に積極的に取り組むとともに、スタッフ一人一人の質を高め、お客様への対応を充実させたい。 ・誤った認識によりアオウミガメ展示に係る第一種動物取扱業が無登録であった事について、今後、二度とこのようなことがないよう、動物取扱業に係わる知識・登録要件について共通の認識を深め対策をし、法令遵守を徹底する。 ・スタッフの質の向上と自主事業の充実を目指し、令和6年度食品衛生責任者講習会に参加し、（養成）1名、（実務）1名修了した。 ・券売機をリニューアルし、新紙幣及び両替機能の向上、多言語化により、業務の効率化や幅広い層の集客、サービスの向上につながった。 ・八戸警察署コラボ水槽の展示を開催し、さらには、令和6年警察協力者感謝状をマリエントとして受賞した。
----	---

評 価	・青森県立八戸高等支援学校、各中学・高等・専門学校の職場体験のほか、青森放送と連携した「ジョブキッズあおもり」や、市内公民館講座の受入れを積極的に実施し、公共施設としての利用と社会貢献の役割を果たすとともに、幅広い分野と連携を深めながら、企画展示の充実及び人材の確保に向け取り組むことができた。 ・マリエント「ちきゅう」たんけんクラブの主な活動としては、次の3つに取り組んだ。 ①令和6年5月26日（日）、千葉県幕張メッセで開催された地球科学分野における国内最大の学会である「日本地球惑星科学連合（JpGU）2024年大会」の高校生によるポスター発表において、シニア会員が2018年より継続し参加した。7年目となった今回は、2グループに分かれ三陸ジオパークについて、「防災」と「ジオ多様性」をテーマに2件の発表を行い、「佳作」を受賞し、表彰を受けた。 ②令和6年8月31日（土）、「第14回日本ジオパーク全国大会下北大会」では、たんけんクラブ会員5名が3つのグループに分かれて参加し口頭発表に挑戦した。また、前日の8月30日（金）には、開会セレモニーにて、ジオパークの普及・啓発、ジオパーク人材育成にも貢献し、ジオパークの教育及び保全における活用例として大変優れた例であるとの理由により「日本ジオパークネットワーク表彰」を「マリエント『ちきゅう』たんけんクラブ」として受賞し、表彰を受けた。 ③令和7年1月27日（月）、「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」海洋フォーラムにて、活動を発表する機会を得た。JpGU大会参加における学習の成果を含めて、これまでの活動について全国の議員が一堂に会する中で発信する大変貴重な機会となった。 ・施設利用状況としては、4階展示ホールにおいて、植物学者・高橋晃氏による、種差の自然を写真・資料で紹介する「AKIRA70」を実施し、期間中にはトーク&ウォークイベントも開催した。また、八戸盲学校・八戸聾学校との連携による作品展の開催の他、新規での展示利用が4件あった。さらには、12月7日（土）一般社団法人T0C0L主催による「イマドキこどものサイエンス・チャレンジラリーわくわく五感センサで未来をつくろう！」がマリエント3階水槽展示室・4階展示ホール・5階展望ホールで開催された。今後も施設利用の充実を図るため、継続して連携に取り組んでいく。 ・安全安心の施設を目指し、避難訓練の実施、日々の巡回・点検を随時実施した。また、各階トイレ手洗い場への子ども用踏み台の設置や昨年度に引き続きサニタリーボックス増設するなど、多様性に配慮した取り組みを進めた。 ・安定的な施設維持管理のため、担当課と連携し、各設備の緊急修繕の実施をはじめ、大規模改修工事に向けて取り組むことができた。
今後の目標	・天気によらず屋内施設でも季節に関わらず安定的に集客をするために、「何度訪れても楽しい」と、繰り返し入館してもらうことを目指し、体験企画の充実を図る。（「マリンレンジャーによる餌付け」「海のふしぎBOX」「エサやり体験」「VR体験」「タッチ水槽」の生き物の拡充、親子で楽しめる「『ワークシート』にチャレンジ」等） ・ホームページのリニューアルを行い、予約ページをより分かりやすくし、最新の情報を常にお届けすることで、施設の利用促進を図るとともに、SNS（インスタグラム）を活用した情報発信の展開や工夫に取り組む。 ・生体展示のキャプションや説明内容を研究成果や根拠あるものにするために研究機関との連携を深め、専門性と親しみやすさの両立を目指す。 ・青森県内水面漁場管理委員及び、青森県水産振興審議会委員となり、青森県内の水産業の状況を常に把握し、展示及び生体の充実に取り組む。県・市が誇る地元漁業や水産業の特色を活かした展示を開催する。（スルメイカ展、つくり育てる漁業） ・地元学校や公民館との連携を強化し、出前授業等に取り組む。（特に学校向けの社会科見学や実習受入れを増加させる）。 ・障がい者への理解を深めた取り組みを実施し、子どもからご年配の方まで多くの皆様が安心して楽しめる場となるように目指す。（手話通訳など） ・改修工事による休館期間中は、施設設備と機器維持点検を重点的に実施する。また、臨時休館日を最小限とし、7～8月の開館時間を1時間延長することで入館者の増加を図る。 ・地域や多くの皆様に支えられて成り立っている企業組合であることの理解を深め、海上保安庁・消防署・海上自衛隊・警察署との連携した企画の開催の他、地域の企業（八食センター）と連携し、共催企画を開催する。 また、市内外の地域団体、幼・小・中・高・高専・大学や青森県立八戸高等支援学校、青森県立八戸盲学校との連携をさらに深め、働く場の確保や自立を目指す障がい者雇用を積極的に実施する。 さらに、高校生の活動や取り組みの「紹介の場」として施設利用を積極的に図る。 ・施設設備の必要に応じた改修を行うと共に、管理者であるとの意識を深めて各スタッフによる日常における目視点検やトイレを含む施設の清掃・見回りを基本業務として実施することで、来館者の安全を最優先に早急な問題発見と解決を行い、施設の魅力を保っていく。

今後の目標	水産漁業及び海洋に携わる、国、県、市町村からの協力をいただき、展示及び「マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ」などの各活動に取り組み、八戸市の水産に関する知識の普及活動を行う。同クラブは、ジュニア（小学生～中学生対象）・シニア（高校生～大学院生対象）・プラチナ（一般）と全ての年代を対象とし、3部制にて活動を行っている。海洋・水産関係には多くの素晴らしい職種があることを体感・実感してもらうとともに、現場の人の話を聞き胸に留めることにより、子供たちが故郷に誇りを持ち、故郷の問題解決に貢献する等、職業選択肢の幅を広げるきっかけとなれるよう、更なる成長と活動の充実、会員増加を図る。
-------	--

■市（所管課）の総合評価

評 価	- これまでの指定管理業務で培われたノウハウを生かし、各種企画や展示を実施していた。 - 附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活発な活動の結果、JpGU2024大会において佳作を受賞し、表彰を受けた。 - 地域と連携したイベント等の開催や開館時間の延長等による来館者数の増加と市民サービス向上に努めていた。 - 臨時休館日には、館内外設備、水槽設備、修繕箇所の点検を実施していた。 - 施設の維持管理では、適切な管理がなされており、経費の削減に努めていた。 - 各学校等の職場体験の受け入れを積極的に実施するとともに、幅広い分野との連携による企画展示の充実を図っていた。 - 年間入館者数は54,593人と目標の60,000人には届かなかったものの、バラエティに富んだ企画や自主事業等、入館者数の増加に向けた取組が実施されており、総合的にみて良好な管理運営が行われていたと評価できる。
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	条例（施行規則）で定められている休館日（月曜日）を開館したほか、開館時間を延長し臨時休館を必要最小限に留めるなど、市民サービスの向上に努めていた。 - 自主事業により季節ごと（年4回）に「夜のマリエント」を実施し、開館時間を通常より2時間延長。 - 臨時休館日は、令和6年5月7・8・9日、7月8・9・10日、8月12日、9月2・3・4日、12月31日、1月14・15・16日、2月3・4・5日。（計17日間。）
法令の遵守	△	包括外部監査によって法令違反があったことが判明したが、速やかに是正された。 ウミガメの展示を行っているため、動物愛護法第10条に基づき第一種動物取扱業の登録を受ける必要があるが、令和2年10月15日以降無登録となっていたが、令和6年11月26日付けで第一種動物取扱業の登録を取得した。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況	○	令和2年3月に雇用した障がい者1名を継続雇用した。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。

従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・避難訓練の実施 ・防災教室の実施
文書の管理保存	△	文書取扱規程が整備されていたが、文書の適切な管理を図るための文書目録が作成されていなかった。（改善済み）
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。また、減免手続きが適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	前期（令和元年度～5年度）に引き続き、今期（令和6年度～10年度）においても継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の点検や修繕が適切に行われていた。また、令和6年度実施の包括外部監査で指摘を受けた備品の現物確認及びその報告が行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	○	利用者数は、天候により団体及び学校関係の利用等合わせて2,000人以上のキャンセルがあり入館者を確保することができず、前年度実績及び当初の目標を下回ったものの、おおむね達成した。 - 令和5年度 目標入館者数 60,000人 実績入館者数 60,127人(対前年度比104%、目標達成率100%) - 令和6年度 目標入館者数 60,000人 実績入館者数 54,593人(対前年度比91%、目標達成率91%)

自主事業	○	入館者数は昨年度に比べて少ないものの、各種自主事業を積極的に企画・実施し集客を図っていた。 ・売店事業 ・自動販売機事業 ・マリエント市 ・水の生き物 特別体験事業 ・夜のマリエント ・高橋晃氏「タネサシの記憶」AKIRA70 ・「第44回八戸花火大会」に伴う八戸市水産科学館の一部開放 ・八戸盲学校・八戸聾学校 わくわく作品展 ・お正月特別企画 新春新鮮野菜プレゼント
その他の取り組み (運営に関する工夫)	○	附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動により、サービスの向上を図った。また、三陸ジオパーク情報発信のための拠点施設として、JpGUにおける「ジオ多様性」をテーマとした発表やジオパークに関する活動に多々取り組んでいた。 〈主な活動内容〉 ・JpGU（日本地球惑星科学連合）2024年大会 ・みちのく潮風トレイル散策、清掃活動 ・海上自衛隊護衛艦「たかなみ」艦内見学 ・水源・利水 南郷区の歴史大研究（世増ダム見学） ・令和6年度八戸市民大学講座「JAMSTEC上席研究員 藤倉克則氏 講義」受講 ・第14回日本ジオパーク全国大会下北大会 参加 ・三陸ジオパーク大研究 ・日本ジオパークネットワーク表彰報告会 ・水産市場大研究（八食センター見学）特別企画「海と日本プロジェクト」 ・地球深部探査船「ちきゅう」中継イベント ・令和6年度「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」海洋フォーラムでの活動発表

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明				
指定管理業務の収支状況	○	利用料金収入は、入館者数の減少により計画を下回ったが、人件費や維持管理経費の見直しを図り、収支は黒字となった。 (単位：円)				
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績
		収入①	利 用 料 金	14,802,000	11,674,820	12,568,920
			指 定 管 理 料	50,912,000	50,912,000	43,590,000
			実 費 収 入 (ちきゅうたんけんクラブ等)	105,000	1,298,100	115,500
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	0	500,000
			東北電力節電達成特典金	0	1,509	48,301
			修繕料繰越金	0	0	1,448
			計	65,819,000	63,886,429	56,824,169
		支出②	人 件 費	23,614,000	21,847,846	21,667,306
			維持管理経費	29,521,000	28,646,473	24,115,908
			事業費・一般事務費	9,784,000	9,492,650	6,534,638
			租 税	2,900,000	3,015,039	2,450,035
			計	65,819,000	63,002,008	54,767,887
次年度修繕料繰越金③		0	42,240	0		
収入-支出(①-②-③)		0	842,181	2,056,282		
自主事業の収支状況	○	収入は黒字となった。 収入：6,795,620円 支出：4,426,940円 収支：2,368,680円				

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	ウェブサイトや広報誌で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。
苦情・要望等への対応	○	苦情・要望に対し、市への報告も適切に対応していた。 令和5年度実績 13件(苦情3件、要望10件) 令和6年度実績 12件(苦情7件、要望5件)
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(実用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(実用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	入館チケット購入の際の声掛けや車いすの配備等、障がい者に配慮した対応が行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	・アンケート箱へ投函された意見を毎日の終礼で共有し、接客や企画立案に活かしていた。 ・施設の見回りや点検を徹底して行い、必要な修繕を適宜行っていた。 ・作業日報を個人用と全体用に分けて作成することで、自身の業務のみならず他のスタッフの業務も把握し、全体の業務効率化を図っていた。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	月例報告書が遅延なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	15回	4月18日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		6月3・16日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		7月18日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		10月3・16日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		11月15・18・21日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		2月10・14日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		3月5・14・26・31日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
	実施結果			
	施設運営や修繕等に関する打合せを行った。			

※GL：グループリーダー